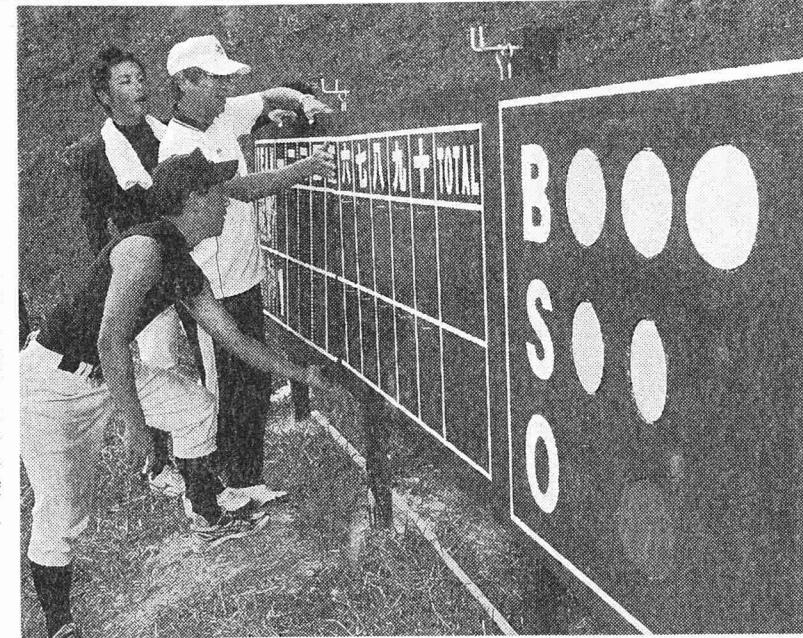


龍神分校野球部



ホームグラウンドに設置

スコアボードを手作り

南部高校龍神分校(田辺市龍神村安井)の硬式野球部(部員12人)がホームグラウンドにしている市営多目的グラウンド「グリーングラウンド」(龍神村柳瀬)に、スコアボードが設置された。顧問の教諭らが、ホームセンターで買った木材を加工するなどして手作りしたもので、部員たちは「練習の励みにしたい」と喜んでいる。

スコアボードは、顧問の伊藤嘉彦教諭が中心になって製作を取り組んだ。伊藤教諭によると、このグラウンドで試合を行う場合、これまで黒板のような小さなスコアボードを使っていたが、観戦に来てくれた人に得点が分かりづらかったことなどから、同校

と伊藤教諭が製作を決意した。設計図を描いて、以前から親交のあるみなべ町島之瀬の大工、松井久さんに相談。松井さんもボランティアで協力を引き受け、8月下旬から製作に取り掛かった。

伊藤教諭は、「こんな立派なスコアボードができるのは松井さんのおかげ。野球部以外の生徒も色塗りなどに協力してくれた。選手たちには、いろんな人から支えられている」ということを心に刻み、大事に使ってほしい。スコアボードは野球部に限らず、地域の野球爱好者の方にも使っていただければ」と話している。

スコアボードは、このほど

龍神分校野球部の顧問らが手作りで設置したスコアボード

(田辺市龍神村柳瀬で)

実現が難しく、「それならば

スコアボードの設置を要望し、拔いて回転するように加工し、ボール、ストライク、ア

ウトのカウントが表示できる

半月ほどかけて完成したス

コアボードは高さ約90センチ、幅約54センチ。得点を書き込むスペ

ースのほか、板を円形に切り

てアーチ型に仕上げた。得点を書き込むスペースは、得点を書き込むスペース

ほどどの費用がかかることから

実現が難しく、「それならば

仕掛けも作った。

バッケネット裏の斜面にコンクリートで固定した高さ1

・5メートルのくいに設置。材料費は5万円ほどで、野球部の予算で賄つたという。

山本心主将(2年)は「す

ぐきれいなスコアボードが

できてうれしい。得点が見やすくなつた。充実した試合が

できるように頑張りたい」と

話した。

伊藤教諭は、「こんな立派なスコアボードができるのは松井さんのおかげ。野球部以外の生徒も色塗りなどに協力してくれた。選手たちには、いろいろな人から支えられている」ということを心に刻み、大事に使ってほしい。スコアボードは野球部に限らず、地域の野球爱好者の方にも使っていただければ」と話している。

スコアボードは、このほど

習試合で初めて使用し、5

1で同分校が勝利した。